

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2025年3月1日

事業所名 スマイルFOUR

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			広いスペースを確保 2階の運動スペースを活用
	2	職員の配置数は適切である	○			必要に応じてアルバイト配置
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			エレベーター使用できる 各フロアに段差無し
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			月に1回会議を開き PDCAサイクルのための 子どもの現状把握に努めている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート調査実施し 職員と情報共有
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			前回公開済み
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		実施実績なし
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		職員の現状に応じて、学ぶ意欲を高めることができる研修の機会を確保する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			家庭連携や面会の場で 保護者と連携し、ニーズや課題を 把握・分析した上で計画を作成
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事務所にて保管 常時閲覧可能
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			一人の意見に偏ることなく 指導員全員が意見を出し合い 子どもに合わせて立案
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			毎日異なるプログラムを実施
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			時期に応じて課題を設定
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			情報共有や意見交換の後、 状況に応じた個々の計画を作成
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			開始前に 打ち合わせや確認を実行
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終了後に 打ち合わせや確認を実行
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎日支援終了後に 支援経過記録を記入
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			相談支援員と連携	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○		ガイドラインの総則を積極的に 共有しながら支援を行う	

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		電話を活用した情報共有と連絡調整を実行
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	実施実績なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		電話を活用した情報共有を行い相互理解に努めている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業する子どもがいないため 実施実績なし 開示する情報は揃えている
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	実施実績なし
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	実施実績なし
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		旭区事業所連絡会に参加
保護者 への説明 責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		子どもの状況を伝えあう時間を送迎時に確保
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	家庭連携において、保護者から子どもに対するかわり方の助言を行うことはあるが、ペアレント・トレーニングの実績なし
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時の面談にて行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		家庭連携時相談に応じる
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	実施実績なし
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		児童発達支援管理責任者を窓口として迅速に対応
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		コドモンを活用して発信
	35	個人情報に十分注意している	○		全職員に周知徹底
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に応じた配慮をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	実施実績なし

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			事務所にて保管 常時閲覧可能
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			事業所内では年に4回実施 外部の研修に参加予定
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			昨年度実施 今年度実施予定
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			記載済み
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者の 情報共有によって把握・対応
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事務所にて保管 常時閲覧可能